



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.25

令和5年7月11日

文責：校長 伊藤孝行

ベンジャミン先生ありがとうございました。

令和元年度から5年間、宮城小の子どもたちに英語を教えてくださいましたベンジャミン先生が、母国に帰ることが決まりお別れの会を行いました。



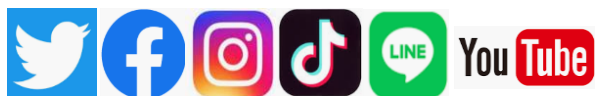
ベンジャミン先生は、オーストラリアに帰ったら日本語を教える先生になるため勉強をするそうです。頑張ってくださいベンジャミン先生！

情報モラル研修会研修内容のお知らせ



先日、3年生～6年生の子どもたちを対象に情報モラル研修会を行いました。

夏休みに入るとネットやSNSを使う機会も増えると思います。子どもたちが、今回どのようなことを学んだかお伝えしますので、ご家庭でも子どもたちが事件や事故に巻き込まれないようご注意ください。



子どもたちに聞いたところ、多くの子どもはYouTubeを視聴したりゲームのボイスチャットを利用したり、インターネットを活用しています。

研修会の中では、市内の小学生や中学生が被害者になったり加害者になったりした例をたくさん紹介してくれました。

【事例1】 レアアイテムのため親のカード

小学生の男児はゲームが好きで、始めは自分のお小遣いの中で課金をしていましたが、どうしてもレアアイテムが欲しくなり、親のクレジットカードを勝手に使ってレアアイテムを手に入れました。一度成功したもので、その後も続けて課金し続け総額は50万円を超えるものとなってしまいました。クレジットの会社から請求を受けた保護者が警察に届けて調査したところ、自分の子どもだったということが分かりました。

クレジットカードは子どもの目の届かないところに保管し、暗唱番号などは教えないようにしてください。

【事例2】 裸の写真を送ってしまった

中学生の女子生徒はアニメが好きで、アニメに関することをInstagramにあげていました。それに「いいね」をくれる男性とDMを交わすようになり、悩み事を相談するまでになりました。

ある日、男性から「君の裸の写真がほしい。」と言われ迷った女子生徒ですが、嫌われたくなくて写真を送ってしまいました。すると、その男性はこの写真を「拡散されなくなったらお金を寄せ。」と言われ、怖くなって親に相談し警察に届けて事件が判明しました。

きちんとしている人は、「裸の写真がほしい。」などとは言いません。そう言われたときはすぐに交流をやめましょう。

【事例3】 変顔の写真を拡散された

中学生女子生徒5人組は仲良しで、グループラインをつくって「変顔写真」を交換して楽しんでいました。ある日けんかをして4人对1人になりました。4人は1人の女子生徒の「変顔写真」を塾の友達に拡散し、1人の女子生徒は学校に行けなくなってしまいました。

友だち同士でも、他人に見られて困る写真や恥ずかしい写真は交換しません。

デジタルタトゥーと言われ、一度送ってしまった写真やデータは削除要請をしてもすべて消えることはありません。知らない人はもちろんのこと友達でも写真や個人情報は送らないようにして自分自身を守らせるようにしたいと思います。